



編集・発行  
熊本県立菊池農業高等学校同窓会 事務局  
TEL 0968 - 38 - 2621  
題字：越猪忠祐  
(元同窓会会長)  
<https://sh.higo.ed.jp/kikuno/>  
印刷  
株式会社 かもめ印刷

## 就任のごあいさつ

熊本県立菊池農業高等学校同窓会

緑水会会長 住野 弘行



昨年三月の緑水会総会に於いて会長を仰せつかりました植木町の住野弘行です。

私は昭和四十六年度農業科を卒業して以来五十四年間農業に励んで参りました。

主に米、西瓜中心の作付だったのが、平成七年に植木町議会議員となり、議会活動で西瓜の交配時期が三月議会と重なり大変な事もあり交配が安易なトマトへと作付転換しましたが、暫くすると主産地の八代、玉名と作付が多くなりミニトマトへと転作、現在はミニトマト中心の作付へと移行しました。

今は息子二人とベトナムからの実習生五人でミニトマト百二十a、西瓜八十a、米三百aを栽培しています。

十一年前に当時の工藤会長より話が有り副会長へと就任、それか



総会（令和6年3月）

ら松本会長、松永会長の下で副会長を務めて参りました。

その間コロナウィルス感染症の拡大期間は活動も制限され、総会をはじめいろんなイベント活動も出来ずようやく一昨年から五類に引き下げられて創立百二十周年事業が出来た事は本当に良かったと思っています。少しずつではあります、コロナ前の状態に戻りつつあります。

同窓会の会員も高齢化して、若い会員の参加が少なく今後の課題として、若い人達の参加を促していきたいと思っています。その為には若い世代が興味を持って頂く様な



グラウンドゴルフ大会

緑水会にしていく必要があります。会員の皆様のご指導とご協力を宜しくお願い致します。

さて今農業の現状に目を向けると世界各地で紛争や、地球規模での異常気象により農産物の不作であったり、飼料や肥料の価格高騰と輸入に頼る我が国では厳しい状況にあります。

それに加えて農業後継者不足と高齢化による農業人口が著しく減少しており、食料自給率も四割に足りない様な状況で外国から輸入頼りでは先が思いやられます。

今後食料自給率を上げる為には農業を学ぶ高校生が農業後継者や農業に関する仕事に就ける社会基盤を整備して実現させなければなりません。緑水会も学校と協力して生徒達の農業教育に携わっていかねばと思っています。

その為には会員の皆様の日頃からの協力とご指導を宜しくお願いして就任の挨拶とさせて頂きま

## 必要とされる学校で あり続けるために

校長 嶋田 泰介



令和六年四月に着任した嶋田泰介です。食品製造の教員として大津産業高を始め、翔陽高、南稜高、熊本農高、教頭として八代農高泉分校、菊池農高、校長として鹿本農高で勤務してまいりました。今回三年ぶりに、第十九代校長として歴史と伝統ある菊池農高に再び勤務することができました。明治三十六年に創立された本校は、幾多の変遷を経て、昭和三十一年ここに花房台地に移転し、昨年、創立百二十周年を迎えた全国屈指の農業単独校であり、二万余人の卒業生は地域社会のみならず全国各地で多分野にわたり活躍しています。



体育大会

この進路状況を紹介いたします。就職求人数は昨年度より一〇%増の約二千百社程でした。地域創生や産業人のスペシャリストを目指し、万全な準備を行い県内外企業の入社試験に臨んだ結果、内定率は八五%に達しています。TSMCを始め県内の製造業食品製造業を中心に、サービス、販売、介護と業種も多岐にわたっています。進学におきましても、九州ルーテル学院大学、崇城大学、東海大学、県立農業大学校、九州動物学院を始め、四年制大学及び各種専門学校を希望する生徒の九三%が合格を手に入れています。部活動関係では、地域貢献と競技人口の拡大を目的にスタートした馬術部の菊農ジュニアクラブが大好評です。また、将棋愛好会は県大会を勝ち抜き、全国大会へ出場することが出来ました。太鼓部もコロナ禍前同様、多くの演奏会に参加しております。さらに、農業クラブでも県大会予選を通過した四名が全国大会岩手大会（農業鑑定競技大会）に出場し、一名が優秀賞を獲得しています。その他にも、菊農SDGs班による問題提起と地域貢献、生徒会各種委員会からの啓発活動など、活躍は枚挙にいとまがありません。



農業科（耕耘実習）

さて、半導体受託生産最大手の台湾積体電路製造（TSMC）の熊本工場（菊陽町）の進出は、膨大な経済効果を県内にもたらすであろうと歓迎の声が上がる一方、

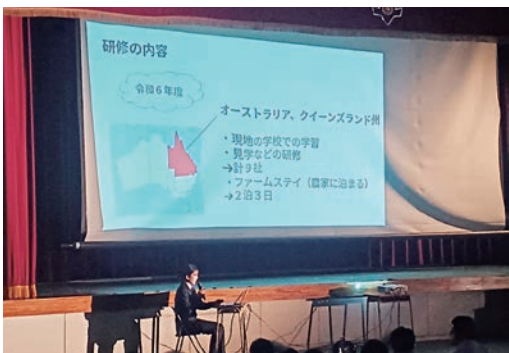
熊本工場周辺には畜産だけでなく農地も広がっているため、果たして「農業と半導体産業が共存できるのか」との不安の声も未だに聞かれます。熊本の農業として農業教育を守る者の一つとして、TSMC熊本工場から最も近

距離にある農業単独高としての本校に課せられた使命には大きなものがあります。農業や食糧、自然、環境、地域文化や地域生活など、人が生きていくために最も大切なことを命に触れながら日々学び、それをもとに、加工食品の開発や地域環境保全への提言、食農教育等、地域そして熊本県の農業振興のために本校が担う役割はこれからもあり続けるはずで、今後も菊農らしく学校行事だけでなく地域のイベント等にも積極的に参加し、地域と共に、地域に根差し、地域に必要とされる学校であり続けたいと思っています。

結びに、緑水会会員の皆様のおすすめの御活躍と御健勝を祈念しますとともに、引き続き本校及び本校生への御支援と御協力をお願いいたします。



生活文化科（総合実習）



畜産ティーン育成プロジェクト  
（オーストラリア研修報告）



食品化学科（ニュービス製造）



園芸科（果樹）





菊農フェスタステージ発表  
(生活文化科ファッションショー)



菊農フェスタ農場開放祭オープニング  
(太鼓部演奏)

平成二十五年三月に農業科を卒業いたしました元田有祈と申します。この度はお話をいただきまして同窓会誌に寄稿させていただきましたことになり大変光栄に思っております。

農業科を卒業し東京農業大学へ進学後、上天草市に移住し農業専門の地域おこし協力隊として、地域振興と農業農村振興策の企画立案等の仕事を経て、上天草市にて元田農業株式会社を設立し、水稲の生産等を行っています。また、青年農業者クラブ（四日クラブ）にて熊本県青年農業者クラブ連絡協議会副会長を経て、現在は九州・沖縄地区農業青年クラブ連絡協議会副会長を務めております。

熊本県青年農業者クラブは、一九五一年に旧菊池郡泗水村にて発足されました。「日本国との平和条約」いわゆるサンフランシスコ講和条約が締結された年でもあり、戦争による連合国統治の色が残るころ、泗水では青年農業者の活動がとて活発であり、菊池地域が県内農業発展のけん引役であったことを感じるができます。現代でも菊池地域が県内農業のけん引役であることに変わりはないのではと感じています。

菊池農業高校での思い出はとにかく広い校地でのびのびと学ぶことができたことです。また、花房寮で過ごした三年間は私の礎として私自身を力強く支えてくれたと感じています。農業科のみならず他学科の先生方にも優しく接していただきとても素晴らしい学びの場であったと思っています。長期休業期間中には学校の協力を得て三度国外研修に参加させていただきました。一年次にはタイ王国立パヤオ農工専門学校へ約一か月、二年次には中華民国（台湾）へ約一・五か月、三年次には熊本県の生徒海外派遣事業「火の国の翼」にて大韓民国へ約一週間渡航させていただきました。菊池農業高校での基礎的な農業に関する学びと、自らの技術の研鑽を経て、海外の農業生産や、海外の人々に関わるにより、より一層自分が生まれた国や場所について新たな発見があることを体験することができ、非常に貴重な体験であったと思っています。

現在も農業にかかわる人間として、菊池農業高校で過ごした三年間は私にとって素晴らしく濃厚な三年間でした。常に新しい視点を求め様々な角度から物事を見つめ、新たな農業農村のけん引役として菊農卒のプライドを持ちながら頑張っていきたいと思っています。



九州・沖縄地区農業青年クラブ連絡協議会 副会長  
元田農業株式会社 代表取締役

元田 有祈

(農業科 平成24年度卒)

## 菊池農業高校で学んだこと

### 令和6年度 会務報告

(事務局担当：森本秀昭)

- 1/23 FFT（タイ国）訪問 生徒4名 激励費贈呈
- 1/27 蒼生会創立50周年記念式典・祝賀会
- 2/29 緑水会（同窓会）入会式  
役員会（農場センター）
  - 1. 令和5年度定期総会議事について
  - 2. 役員改選について（会長・副会長・監事交代）
- 令和5年度 定期会計監査（農場センター）
- 3/1 第60回卒業式 本校体育館
- 3/22 令和5年度 緑水会総会・懇親会（城乃井旅館）

役員改選 新会長 住野 弘行 氏  
副会長 古庄 寿治 氏  
監事 佐々 春一 氏  
監事 藤本 公徳 氏

- 5/15 緑水会三役会
  - 1：令和5年度総会報告
  - 2：令和6年度行事等について
  - 3：臨時理事会開催について今後の迫間支会の運営について
- 5/22 緑水会役員会（新旧三役引き継ぎ）
- 6/5 臨時理事役員会
  - ・菊池市迫間支会の今後の運営活動について協議
- 7/11 蒼生会総会
- 7/30 海外研修「畜産ティーン」参加生徒（1名）へ激励金贈呈
- 8/7 農業経営者育成講演会理事会・総会
- 9/11 火の国の翼参加生徒（5名）へ激励金贈呈 校長室
- 9/21 第13回菊池農業高等学校緑水会ゴルフ大会  
参加38名 肥後サンパレーカントリークラブ
- 11/9 昭和48年卒同窓会（菊池グランドホテル）
- 11/15 第11回熊本県高校同窓会連絡協議会定例会  
(ホテルキャッスル)
- 11/17 菊農フェスタ農場開放祭 緑水会・蒼生会バザー出店  
第10回グラウンドゴルフ大会 参加者28名



フェスタ開放祭



蒼生会による出前授業（松岡明彦様）

## 昭和47年度卒 菊池農業高等学校古希同級会



令和6年11月9日 於：菊池グランドホテル

### 令和6年度3月卒業生進路先一覧

	就職	進学	その他	合計
農業科	7	8	1	16
園芸科	12	1	0	13
畜産科学科	8	16	0	24
食品化学科	16	9	2	27
生活文化科	12	4	3	19
合計	55	38	6	99

令和6年12月末日現在

#### 主な就職先

中九州クボタ・日本ニューホランド・社台ファーム・トップ卵ファーム・めん食・リョーユーパン・ニューイングベーカリー・武双庵・日清医療食品・ニシムタ・ロッキー・日本梱包運輸倉庫・エーブル・トヨタ自動車・JASM・九電工・日本電子材料・南星機械・ヒサダ・昭和コンクリート工業・九州ティエス・ミライアル・西日本鉄道・メガネトップ・熊本三菱自動車販売・桜十字病院 等

#### 主な進学先

●四年制大学  
九州ルーテル学院大学・崇城大学・東海大学・九州看護福祉大学・九州産業大学・九州共立大学・広島国際大学  
●短期大学・専門学校  
熊本県立農業大学校・尚絅大学短期大学部・熊本電子ビジネス専門学校・モアヘアメイクカレッジ・九州動物学院・シェフパティシエ学院・菊池郡市医師会立看護高等専修学校・湖東カレッジ・熊本歯科技術専門学校・熊本総合医療リハビリテーション学院・熊本 YMCA 学院・西日本アカデミー専門学校・福岡ビジョナリーアーツ 等

